

令和7年度 音楽科 授業改善推進プラン

大田区立糀谷中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・積極的に発言しようとする生徒が多い。
- ・ICT 機器を使用する授業内容が増えた。
- ・定期考査で何が大切か、ポイントを捉えて挑むようになった。

(2) 課題

- ・音楽的理論や楽典的知識の理解度が個人によって差がある。
- ・リコーダーの学習が苦手である。
- ・年間で学習内容を組み立てているが、学級担任から合唱コンクールへの取り組みを増やすよう要望がある。

2 大田区学習効果測定の結果分析

実施なしのため省略

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
変声期に入った生徒に配慮した指導を心がける。一人でも自信を持って歌唱表現できる力をつけさせる。 リズム読みの練習を充実させ、読譜力をつける。	楽曲に対するイメージを持たせ、ICT を適宜使用しながらクラス全体で意見を共有し、深い学びにつなげる。	子どもの意欲を引き出す課題の設定。 「何のために」という目的感と、課題ごとの目標を明確にする。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
リズム読みの練習を充実させ、読譜力をつける。 豊かな響きを作るために自ら持っている音色に気づかせ、伸ばしていく発声法に留意する。	楽曲に対するイメージを持たせ、ICT を適宜使用しながらクラス全体で意見を共有し、深い学びにつなげる。 楽器の音色や役割、曲の構成など関連づけて指導する。	子どもの意欲を引き出す課題の設定。 「何のために」という目的感と、課題ごとの目標を明確にする。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
楽曲の構成や各パートの役割等も考えながら、全体の響きを味わって表現出来る力を養わせる。 世界の多様な音楽の理解と日本の音楽についての理解	楽曲に対するイメージを持たせ、ICT を適宜使用しながらクラス全体で意見を共有し、深い学びにつなげる。 楽曲に対するイメージを表現するために、具体的な方法	「何のために」という目的感と、課題ごとの目標を明確にする。 最高学年として学校全体の歌声をリードする自覚をもたせ、主体的、計画的な取り

を深め、優れた演奏を多く聴く機会をもつ。	を考えさせる。アプローチの仕方についても工夫させる。	組みをさせる。
----------------------	----------------------------	---------